

一般社団法人 学修評価・教育開発協議会 2021 年度 事業計画

2020 年度は新型コロナウイルスの影響により、中止した事業もあった半面、Zoom 等の遠隔会議システムを用いて実施した事業もある。ポストコロナを見据えて引き続き、改革総合支援事業や教学マネジメント指針に依拠し、各会員校の教育改革に資する取り組みを行う。

1. 企画調整委員会関連

○ 国内留学事業および単位互換プログラム事業の実施

会員校間の学生交流を推進し、地域を越えた連携によって学生の学びがより深いものになるよう、国内留学（派遣＋受入）を引き続き実施する。

《具体の取り組み》

- ① 【継続】国内留学事業は、新型コロナウイルスの影響のほか、応募したものの経済的理由により辞退した学生もあった。認知度は上がっていると思われるので各校での広報を充実していただく。また、募集の時期、説明会の時期の適切性についても再検討する。
- ② 【継続】外国人留学生を対象とした、短期で複数大学とその周辺地域を訪問するプログラム事業は、おおまかなプログラムまで作成したので、2021 年度は担当者・部局を各大学で決めていただき 2022 年度実施に向けて具体化を進める。
- ③ 【継続】複数の大学間での教職課程の共同実施は、情報収集を行いつつ、大学によっては学内展開を検討する。
- ④ 【継続】短期集中プログラムは再開に向けて協議を進める。
- ⑤ 【新規】オンライン授業を 2021 年度から実施する。現在のところ、関西国際大学では、4 プログラムを設定予定。
 - ・特別研究（ポストコロナ社会を生きる私たちへ（応用編））
 - ・特別研究（ポストコロナ社会を生きる私たちへ（基礎編））
 - ・特別研究（体験の言語化）
 - ・コミュニティ防災

○ オフキャンパス報告会（発展的終了）

2020 年度は本協議会加盟校（一部）と名桜大学とのコロナ社会を考える共同プログラム（CCP6）の実施もあり、本事業は実施に至らなかった。今後も、単発の報告会の実施よりも、より教育効果が高いと見込まれる課題解決型の共同教育プログラム（Zoom 等利用）に移行する。

○ 共同 FD, SD の実施 (継続)

会員校に共通する専門分野に係る FD, 専門性の高い教職員養成に係る SD を共同で企画し実施する。状況を見定めつつ、可能なものについて実施していく。日程は再検討する。

《具体のテーマ (案)》

① FD「小規模私立大学における要支援学生に対する対応」

心理的な問題を抱える学生、学修・環境への適応についての問題を抱える学生等への対応について、人的リソースが不足しがちな小規模私立大学において、どのように対応してゆくの、いくつかの事例を参考に自学での対応を検討する。

(関西国際大学：花熊先生、もしくは中尾先生)

② SD「入試改革の動向について」

「大学入試のあり方に関する検討会議」など、入試改革の方向性についてご教示いただく。

2. 入試開発委員会関連

○ 言語運用力と数理分析力に関するテスト開発 (継続)

《具体の取り組み》

・関西国際大学の入試での活用状況について情報交換を行う。

○ 入試改革に関する情報収集と共有 (共同 FD, SD に移行)

・「大学入試のあり方に関する検討会議」など、文科省の動向や大学入試センターとの連携について情報共有を行う。

3. IR 研究委員会関連

○ 言語的思考力テストの共同実施 (継続)

2020 年度は、コロナの影響で実施できなかった大学もある。2021 年度は再び実施大学を募りたい。

《具体の取り組み》

テストを実施し、希望大学にはフィードバックシートを作成する。

○ 学生調査の共通項目の検討 (継続)

関西国際、淑徳、北陸学院で共通 (各校カスタマイズ) の学修行動調査を実施しているが、学生調査の種類が増えているのを受け、協議会共通の調査項目を検討する。

《具体の取り組み》

全国共通学生調査の試行 2 年目（2020 年度は中止）に際して、各大学の学修行動調査、卒業時調査および卒業後調査に協議会共通項目や共通分析等を IR 研修会時も活用して検討する。

《ご参考》

・「全国学生調査」に関する有識者会議（第 4 回）会議資料

https://www.mext.go.jp/kaigisiryu/mext_00188.html

・Between 情報サイト「全国学生調査の第 2 回試行—2 年生と 4 年生を対象にコロナの影響も把握」2021 年 03 月 09 日

<http://between.shinken-ad.co.jp/univ/2021/03/gakuseicyosa.html>

○ 「教学マネジメント指針」における「学修成果の可視化と情報公開の促進」（継続）

「教学マネジメント指針」の学修成果の可視化と情報公開の促進に関する各大学での取り組みについて情報交換を行う。

○ IR 研修会の実施（継続）

会員校の IR の取組を強化する。

《具体の取り組み》

IR 研修会（共同 SD）を実施する。実施時期（予定）：2021 年 8 月、2022 年 3 月

教学マネジメント指針が公表され、教学マネジメントを確立するための IR 活動がますます重要になってきている。各会員校の活動について相互に学び合うとともに、IR を効果的に活用するための課題について考える。

4. データサイエンス関係

文部科学省は、大学におけるデータサイエンス教育推進の一環として、2021 年度から私学助成（特別補助）による支援に力を入れるとのこと。それに対応するために共同して取り組んではどうか。

《ご参考》

私立大学に対する特別補助では、①モデルカリキュラムの策定や教材開発、実データを活用した実践的教育など、先進的に取り組む大学、②データサイエンス教育担当教員を増やすためのワークショップや FD 活動の実施など、他の私立大学への普及・展開を図る大学、③自学でのデータサイエンス教育導入に向けてワークショップや FD 活動に参加する大学の 3 つのレベルそれぞれに該当する取り組みごとに、補助金を加算する。

データサイエンス教育を構想・担当できる教員が私立大学に少ない実情をふまえ、裾野を広げるためのインセンティブとして②③を支援する一方で、先導的な取り組みを増やしていくための①も設定した。

これに伴い、2021 年度の私立大学等改革総合支援事業では、データサイエンス教育に関する評価項目を一部、または全て削る方向で検討されている。

※Between 情報サイト「2021 年度、私学助成でデータサイエンス教育の取り組みを支援」
2021 年 03 月 15 日より引用

<http://between.shinken-ad.co.jp/univ/2021/03/shigaku josei.html>

5. その他

- ・各会員校で行う講演会・FD 研修会について希望があれば配信する。
- ・ホームページの更新および新規会員校の募集

以 上